

かの狭い本口切とひろきをあるひは日ざしをうけるべし
あるひは風一枝にあるもよし二枝六面心胸入あらわるべし
二枝六面心胸入あるを俗一あるを俗一

○松入の事

▲松を一瓶のうちにいくつもさすべし若しやれをまじえひてうるおいをうしなうのおそれあり

▲松を一瓶にさすべし

▲松を一瓶にさすべし

○四季の松を入の事

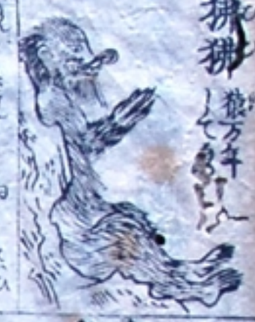
○松を入の事

○松を入の心得

○松を入の事

○松を入の事

○松を入の事



元禄改服忌令

人のあつを精進潔斎うて物忌ふ事古くより有ことなり然るに其忌の日数一定ならず或は三十日五十日百日又は一年三年の忌有て其差別まちまちなり依て元禄十三年庚辰の冬改正して一定の忌服を令せらる其令左のごとし

▲父母　忌五十日　服十三月　○まゝ母継父同居の継子同前　忌三十日　服百日　父母ともに忌服の内に継父母死去の時は忌服三十日に減ず　▲養父母　忌三十日　服百日　▲嫡母　忌十日　服五月　○父存生の内継母死去の時は忌服十日に減ず　▲養子　忌十日　服三月　○まゝ子同前　▲継父　忌十日　服五月　○但幼少の時より同居する継父は実父同前　▲継母　忌十日　服五月　○まゝ子同前　▲離別の妻　忌五日　服九十日　○まゝ子同前　▲嫡子　忌十日　服百五十日　▲夫　忌五日　服九十日　○まゝ子同前　▲妻　忌十日　服三月　○妻存生の内継子死去の時は忌服十日に減ず　▲養子　忌十日　服三月　○まゝ子同前　▲嫡孫　忌十日　服三月　○まゝ子同前　▲祖父母　忌三十日　服五十日　▲曾祖父母　忌二十日　服九十日　▲外祖父母　忌十日　服三十日　▲伯叔父姉　忌二十日　服九十日　▲兄弟姉妹　忌十日　服三月　○まゝ子同前　▲妻父母　忌三日　服七日　▲嫡孫の妻　忌三日　服七日　▲従父兄弟姉妹　忌三日　服七日　▲甥姪　忌三日　服七日　▲舅姑　忌三日　服七日　▲従祖父母　忌三日　服七日　▲従兄弟姉妹　忌三日　服七日　▲従甥姪　忌三日　服七日　▲妻父母の兄弟姉妹　忌三日　服七日　▲従祖父母の兄弟姉妹　忌三日　服七日　▲従兄弟姉妹の子　忌三日　服七日　▲従甥姪の子　忌三日　服七日　▲従祖父母の兄弟姉妹の子　忌三日　服七日　▲従兄弟姉妹の子の子　忌三日　服七日　▲従甥姪の子の子　忌三日　服七日　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子　忌三日　服七日　▲従兄弟姉妹の子の子の子　忌三日　服七日　▲従甥姪の子の子の子　忌三日　服七日　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の子　忌三日　服七日

▲父母の忌服内に死去の時は忌服三十日に減ず　▲嫡孫の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲外祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲伯叔父姉の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず

▲父母の忌服内に死去の時は忌服三十日に減ず　▲嫡孫の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲外祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲伯叔父姉の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず

▲父母の忌服内に死去の時は忌服三十日に減ず　▲嫡孫の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲外祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲伯叔父姉の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず

▲父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲嫡孫の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲外祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲伯叔父姉の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従甥姪の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず　▲従祖父母の兄弟姉妹の子の子の子の忌服内に死去の時は忌服十日に減ず

▲父母の忌服内に死去の時は忌服三



秘蔵 秘密 秘記
勿論 尤 併
勿論 尤 併
勿論 尤 併





▲男女 女児子五人内三人大きなり小さなり
ねぬつさま〳〵着もの本乃さまのかこと
○いろ〳〵人のいろなる神乃むすこ
▲男女 女子そろ〳〵ねる〳〵仕子二人の人ふへ〳〵
くるり〳〵神立廻つてうち〳〵ねんせへ
そらあ〳〵さなり
○ちやうる神とあれとれ
▲男女 女子三人あり仕ちやりんなれ
ばこにおもふかり神はうけふたへ
○歌
ろ踊りのあろうとはうかれ
▲男女 女金そろ〳〵笑はうろ〳〵子天ろへ
ことにせいそへ〳〵くる仕つるあるへ
○あのふ あひそめ〳〵ものこたゆもかりそは
さゝをにしまれりさまり
▲男女 女水うちろ子六人ねつそろ〳〵く傘もちう
神子はうにねつて大きなり てうちろ〳〵ろへあり
ねうろうにねう〳〵娘さうりのこうろ〳〵
○あれに
▲男火 女火 大きにろ〳〵あれれいそうくれたろへ
すゝくせうろ〳〵仕子天ろへ
○歌 ひかなろもこひ〳〵きうへいやそうへく
○歌 ひかなろもこひ〳〵きうへいやそうへく

尤 勿論

冥加 冥加至極
ろう 自然 旦那
自由 神仏 御影 罰当
除首 罪業 免許
限 果報 厳禁
神恵 神々 冥加至極
おかけ 参詣 自然
おかけ 参詣 自然
御影 御利生 御利益
御影 御利生 御利益

▲男火 女土 大きにろ〳〵生ろ子二人ふへ九人ねつさまて傘もち〳〵ろう神立廻つてろへ〳〵仕子内三人ふへ仕をなさよ
○あに あひそめ〳〵ものをふくむすむてて
ろへかさけのまをれかさよ
▲男火 女木 ろ〳〵子二人り〳〵八人ねつさにそうろ〳〵神立廻つてろへ〳〵むさにえへあり
○あに ねうろ〳〵さかくまさこんとねとへ
こせを祢かつ祢をまもろ〳〵うりうり
▲男火 女金 大きにろ〳〵仕子二人ふへ三人ありいそうくれにとほ〳〵さへ仕人ふへろへろへとほり
○あに いけ〳〵かとねりひわすく心地をなくものそふてそろもろ〳〵かりをる
▲男火 女水 大きわ踊〳〵子あれれもいそうくれふほ〳〵さへんろへろへ仕子三人の内一人ふへ
○歌ま りろへろへあふんろへなれとも
ろへ男ひとり仕にむまろふかなり
▲男土 女土 ま子ろへ〳〵ねうろ〳〵子三人あれとを何すもろへにかなろ〳〵うろ仕やまひわわ
○あに 男をんさまもをほのかまこのせとも
いけ仕うひかれろへかなりをる
▲男土 女金 大にう〳〵子九人ふてんろへくる仕とにおうひまの神立廻ほろへ〳〵ものろへふへでう〳〵
○歌ま ゆ〳〵ひう〳〵娘うりかゆにうへたて
さけのいつさのまくとねりへた


▲男士 女水 大ほう〳〵子なり〳〵仰れんなうて物を
うられとれやうにかなり〳〵うち非とうろ〳〵ねかう
○あにこちらあなさまのくも物をさして行るゝ
いうにもれくうは生子とたなり
▲男士 女木 まあ〳〵めいまう〳〵やれそはいあさみ
ん人ゝ位なそうまやうを物下らういうはあさかいよう〳〵
○あにつちとまハそんのうなる物やなれと
いのれい神乃めでんありくり
▲男士 女火 大ほう〳〵子め人いあそくれたはしある
とんのまくなりむひやうあて金も
○あにあくうれ〳〵いとくたの〳〵れとあるか
○あにあの物はよくほ〳〵かく物ハ
▲男金 女木 大にほう〳〵子二人あれた一人かた但
あるべ〳〵んのまくあうれんろうまあだ
○あに 也申にすむひもとなさ物あるる
つもにんのなうけ者たく物で
▲男金 女ゝ 大ほ吉子六人ゆつさして金も
たえれ天神とろれおはいう〳〵紋よ今こうと
○いうにせんかくるさまわのあるゆて
ようさいハすくかたやまひかなり
▲男金 女木 大にほう〳〵子二人あれた一人かた但
あるべ〳〵んのまくあうれんろうまあだ
○あに 也申にすむひもとなさ物あるる
つもにんのなうけ者たく物で
▲男金 女ゝ 大ほ吉子六人ゆつさして金も
たえれ天神とろれおはいう〳〵紋よ今こうと
○いうにせんかくるさまわのあるゆて
ようさいハすくかたやまひかなり
▲男金 女火 大にほう〳〵子二人あれた一人かた但
あるべ〳〵んのまくあうれんろうまあだ
○あに 也申にすむひもとなさ物あるる
つもにんのなうけ者たく物で
▲男金 女ゝ 大ほ吉子六人ゆつさして金も
たえれ天神とろれおはいう〳〵紋よ今こうと
○いうにせんかくるさまわのあるゆて
ようさいハすくかたやまひかなり


▲男金 女火 大にほう〳〵子一人あれ金乃〳〵
えんなりそうまちうへ
○あのにむり〳〵うち次ろうぬうこれおひはく
つ物よそひのおしてなさ
▲男金 女土 大吉子六人ゆつさして天下
まる金もうへんくやるにんまけうまんのまくり
○あにいあ〳〵くともむすひ物もてたうのくを
日はとそくくるものへ〳〵かりをり
▲男水 女水 まき吉子八人あるへ〳〵但をへうう
ほ物しうち非を海はろへ
○あの。 たうれいなさことの人にろくそ
あけられの金をかるかの〳〵さ
▲男水女木 子七人の三人をりこまうう物をうん
ぶんぼさろをいのろへ〳〵ぬつきうくくうる大吉〳〵
○あに 也申にんのの〳〵さりのハおほきれと
日れまうさられ人ハあら〳〵か
▲男水女火 大にほう〳〵子あれ物たれ但ろへ
肉一人ハち名ろへ〳〵ねうまにそうまあまハ
○あに ものすにかて海まもしさめよんろも
人にろへ日ぬ男とそそうくむ
▲男水女土 大ほれ物〳〵まやへんさられそほうさ
金ろうあるろくくろう何まろ
○あに 也乃中おむまれまれるひもなく
男をハなまひのうもにはせ次る
▲男水女金 大ほう〳〵子七人金ぬつさうてゆう
くろまうそうち非よまりて吉けそくれほう
○あに 以也ふくかるたの〳〵ろひ物ら
むう〳〵ろおしのろひ物ら

有慶無慶の事

▲有慶ニ慶ノ運アルモ亦ベシ。人ニ十二運アリ胎養長沐冠帯建禄帝旺衰病死墓絶トナルコトシ。此内胎養長沐官臨帝旺ノ七運ハ吉ニシテ衰病死墓絶ノ五運ハ凶ニシテ有慶七年ナリ。文字ノ如クモノヽ有リテタグヒヨメグリテ吉ヨツマテイツマデモ吉ヨツマテイツマデモ吉ナリ

○木性ハ　酉戌亥子丑寅
　辰巳午未申

○火性ハ　子丑寅卯辰巳
　未申酉戌亥

○土性ハ　午未申酉戌亥
　丑寅卯辰巳

○金性ハ　卯辰巳午未申
　戌亥子丑寅

○水性ハ　申酉戌亥子丑
　寅卯辰巳午未

人ノ一生ハ禍福アリ吉凶アリ。七運ノ運ハ七年有亂アリ
ハ五年吉アリ
ハ七年有亂アリ
ハ五年吉アリ
ハ七年有亂アリ
ハ五年吉アリ
ハ七年有亂アリ
ハ五年吉アリ
ハ七年有亂アリ

名家字

附古文字韻字并相生之性

凡八千六百十二字餘

天 玄 令 霄 晴 治 遥 敏 明 流 朋 共 友 與 具 奉 等 輩 知 云 親 知 秋 佚 勅 解 説 刻 節 伴 侶 偕 逼 遂 永 玄 應 十 偶 言 晨 辰 宗 遐 遐 通 迴 遥 僚 倫 朝 類 流 朋 共 友 與 具 奉 等 輩 知 云 親 知 比 鄰 昵 睦 迩 似 尋 愛 幾 庶 及 周 集 參 局 後 這 尋 捷 克 謙 金 易 包 周 懷 撫 固 片 象 質 良 興 置 業 起 息 致 雄 緒 火 男 臣 尾 勝 頼 計 運 般 員 校 種 籌 等 量 箇 孤 寂 像 方 姿 賢 堅 廉 稜 柯 楞

讚吉好善快悅祥福勝殊珍致能理持赦懿穀

類德良美由若可資令愛嘉榮宜喜賢敬憙督

賀富幸慶寵至住

效均雅矯格彈

教位好廷上楚敬天卓尊貴崇謇堯喬棟陟

尹唯齊直正公只品內覽董但任理政紀渡音

紹能勝當妙耐

連列行般諸綿陣貫番

代世俗吉

標殷祉高

弼俾倚階隨職猶從

幹據緣因寄自資由藉憑

嗣紹序族亂番著

統卓

恒經常懷道庸方每

字号號宗旨胸棟統致概

造莠慈

仲中遐祥

永壽脩度條

直尚仍

歷矩似式序

業生

也爲登濟作霽得諸徃晴

陳叙頌暢肆經列敷宜庠庸命言展書正常業

之

則刑剩儀伯似規法德記軌納狀牾綱教矩永式章憲度典尋周智義保寧易

彝秉孝

邑邦刑

獸雅師識言令範了

都業

康泰

以請敬由于至幸介雪恭是益弥三填光充
寶察三省顧遍道途達徑跡路方滋林稠殷維
重繁薫蕃弈成柴爲芝慮茂臣包英任昆堪
盈並前身體相視規親覩瞻鑑見子美質皆覧
古昔上往故壽尚之仁人者云君公仁豐爲
集夷均位衡救成數寛泰弘熙泛敬閫博
汜轉礼褒庶兩諸師專與俱修認遂持將住須
以用望茂蔚或忍元基舊花臺意資太素下躰
逸慶息昆慰賢穏徳術休怵懐愷預祕毘當
順韓濟備黨房総業宣種亮維幾興記濫此是
政雅箴成尹匡將齊理弓方董督應眞祇和暢
之斯伊投條旗柯桑朋明昭詮王部秩顯飽頭聡聽
招朗章信著皦成察鬯覧審白磐在現得盈鴛
敦淳適重綱閭里邑巷寳積信仁孫誠嗣
潔清浄穏雪靜瀬村規城
孚咸守定貞正完自潔行徃征綸之如言遊適致
起紀來木興宜藝黄

祇園精舍 舍衛國



竹林精舍 王舍城中

大林精舍 毘舍離城之

舍那離陀寺 同上



經山寺 錄杭州府北

靑王寺 仍舊

天童寺 仍舊

阿育王寺 仍舊

○

佛生日 四月八日

大林精舍 毘舍離城之

雲門寺

日本

東山 建仁寺 京都

瑞龍山 大德寺 京都

東福寺 京都

巨福山 建長寺

金峯山 淨智寺 鎌倉

天龍寺 嵯峨

靈鷲山 淨土寺 天海八萬五山之上

天龍寺

相國寺

萬壽寺 振旦九重內無山寺

恩林寺

通玄寺

許雅根職幹株始源敬
林茂盛森積護翁正
絕維清澄住處角炭墨
遍傳助祐扶相制縱如
毘弼威右分資亮輔翼
爲藝典方副抄末撰
偶照光蓮英蕚瑞幸
限曲熊瀕庫掠司雨
宇全又亦也復加載
珍幹薰窺宅舍屋盛待
稔俊敏年載歲紀祀暮
俟須頭首上正守尹郊
褉禊芳民姓封樹城衛來

名家同緑頭字

已上

亨の称書
[尼寺五山]の称あり
[五畿内]
[山城]る以後を方の
る七拾八拾る田数八ツ
九百六拾七町あり
[大和]る尼拾に方に
ある二百七拾八拾る田数
七ツ六拾六町あり
[河内]る三拾方八
る八百七拾七拾八田
数七百方九百七拾
七町あり
[和泉]る拾三万八
千七百九拾七拾田
数にる百廿六町
[摂津]る以後六万
九ツ九百以後七拾田
七ツ六拾六町あり

[東海道]
[伊賀]る六拾七万
六百八拾六町あり
[伊勢]る以後六万
七百八拾六町あり
[志摩]る七方七
千八百二拾五町あり
[尾張]る以後七万
六百六拾七町あり
[参河]る三拾万
八百四拾七町あり
[遠江]る以後八万
八百四拾七町あり
[駿河]る以後七万
九百六拾七町あり
[伊豆]る九万九
千八百八拾八町あり
[相模]る拾九万

○南畿近列大国二流国用ノ外六十六ケ国ヤ

[大和]
[河内]
[和泉]
[摂津]

[伊賀]
[伊勢]

○東海道十ケ国ヲ経テ奥ヘ通ス海道

[伊賀]
[伊勢]
[志摩]
[尾張]
[参河]
[遠江]
[駿河]
[伊豆]
[相模]

○東山道八ヶ国

近江 大国にして十二郡に分つ

大津 本駅
野洲 駅
栗太 駅
甲賀 駅
愛智 駅
犬上 駅
坂田 駅
伊香 駅

美濃 大国にして十一郡に分つ

不破 駅
関ヶ原
席田 駅
方県 駅
厚見 駅
各務 駅
山県 駅
武義 駅
郡上 駅
賀茂 駅

飛騨 大国にして三郡に分つ

大野 駅
荒城 駅
益田 駅

信濃 大国にして十郡に分つ

更級 駅
埴科 駅
水内 駅
高井 駅
小県 駅
佐久 駅
諏訪 駅
伊那 駅
安曇 駅
筑摩 駅

上野 大国にして十四郡に分つ

群馬 駅
碓氷 駅
利根 駅
吾妻 駅
勢多 駅
佐位 駅
新田 駅
山田 駅
邑楽 駅
那波 駅
緑野 駅
甘楽 駅
多胡 駅
片岡 駅
緑野 駅
甘楽 駅
多胡 駅
片岡 駅
緑野 駅
甘楽 駅
多胡 駅
片岡

○南海道六ケ国

紀伊 上国

上郡七駅 中路

名草 海部 那賀 伊都 海草 日前国懸

名草郡 和歌浦 玉津島 明神 妹背山 紀三井寺 雑賀崎 雑賀庄 雑賀野 雑賀山 雑賀浦 雑賀川 雑賀橋 雑賀社 雑賀道 雑賀坂 雑賀峠 雑賀関 雑賀口 雑賀町 雑賀屋敷 雑賀台 雑賀谷 雑賀森 雑賀原 雑賀村 雑賀里 雑賀門 雑賀家 雑賀人 雑賀男 雑賀女 雑賀子 雑賀孫 雑賀親 雑賀兄 雑賀弟 雑賀妻 雑賀夫 雑賀小僧 雑賀小娘 雑賀下女 雑賀上座 雑賀中間 雑賀小者 雑賀若党 雑賀足軽 雑賀鉄砲 雑賀鉄砲組 雑賀鉄砲衆 雑賀鉄砲頭 雑賀鉄砲足軽 雑賀鉄砲玉薬 雑賀鉄砲火薬 雑賀鉄砲鍛冶 雑賀鉄砲鍛冶屋敷 雑賀鉄砲鍛冶職 雑賀鉄砲鍛冶道具 雑賀鉄砲鍛冶仕事 雑賀鉄砲鍛冶弟子 雑賀鉄砲鍛冶師匠 雑賀鉄砲鍛冶親方 雑賀鉄砲鍛冶小僧 雑賀鉄砲鍛冶小娘 雑賀鉄砲鍛冶下女 雑賀鉄砲鍛冶上座 雑賀鉄砲鍛冶中間 雑賀鉄砲鍛冶小者 雑賀鉄砲鍛冶若党 雑賀鉄砲鍛冶足軽 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲組 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲衆 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲頭 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲足軽 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲玉薬 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲火薬 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶屋敷 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶職 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶道具 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶仕事 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶弟子 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶師匠 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶親方 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶小僧 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶小娘 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶下女 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶上座 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶中間 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶小者 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶若党 雑賀鉄砲鍛冶鉄砲鍛冶足軽

淡路 上国

上郡三駅 中路

三原 津名 三原郡 津名郡 洲本 洲本城 洲本川 洲本橋 洲本町 洲本屋敷 洲本台 洲本谷 洲本森 洲本原 洲本村 洲本里 洲本門 洲本家 洲本人 洲本男 洲本女 洲本子 洲本孫 洲本親 洲本兄 洲本弟 洲本妻 洲本夫 洲本小僧 洲本小娘 洲本下女 洲本上座 洲本中間 洲本小者 洲本若党 洲本足軽 洲本鉄砲 洲本鉄砲組 洲本鉄砲衆 洲本鉄砲頭 洲本鉄砲足軽 洲本鉄砲玉薬 洲本鉄砲火薬 洲本鉄砲鍛冶 洲本鉄砲鍛冶屋敷 洲本鉄砲鍛冶職 洲本鉄砲鍛冶道具 洲本鉄砲鍛冶仕事 洲本鉄砲鍛冶弟子 洲本鉄砲鍛冶師匠 洲本鉄砲鍛冶親方 洲本鉄砲鍛冶小僧 洲本鉄砲鍛冶小娘 洲本鉄砲鍛冶下女 洲本鉄砲鍛冶上座 洲本鉄砲鍛冶中間 洲本鉄砲鍛冶小者 洲本鉄砲鍛冶若党 洲本鉄砲鍛冶足軽

阿波 上国

上郡十一駅 中路

名西 名東 板野 阿波郡 麻植 美馬 三好 勝浦 那賀 海部 那賀郡 海部郡

○西海道九ケ国

志摩 上国

上郡二駅 中路

志摩郡 英虞郡 的矢湾 的矢浦 的矢川 的矢橋 的矢町 的矢屋敷 的矢台 的矢谷 的矢森 的矢原 的矢村 的矢里 的矢門 的矢家 的矢人 的矢男 的矢女 的矢子 的矢孫 的矢親 的矢兄 的矢弟 的矢妻 的矢夫 的矢小僧 的矢小娘 的矢下女 的矢上座 的矢中間 的矢小者 的矢若党 的矢足軽 的矢鉄砲 的矢鉄砲組 的矢鉄砲衆 的矢鉄砲頭 的矢鉄砲足軽 的矢鉄砲玉薬 的矢鉄砲火薬 的矢鉄砲鍛冶 的矢鉄砲鍛冶屋敷 的矢鉄砲鍛冶職 的矢鉄砲鍛冶道具 的矢鉄砲鍛冶仕事 的矢鉄砲鍛冶弟子 的矢鉄砲鍛冶師匠 的矢鉄砲鍛冶親方 的矢鉄砲鍛冶小僧 的矢鉄砲鍛冶小娘 的矢鉄砲鍛冶下女 的矢鉄砲鍛冶上座 的矢鉄砲鍛冶中間 的矢鉄砲鍛冶小者 的矢鉄砲鍛冶若党 的矢鉄砲鍛冶足軽

壱岐 上国

上郡八駅 中路

壱岐郡 壱岐島 壱岐国 壱岐守 壱岐殿 壱岐様 壱岐家中 壱岐侍 壱岐武士 壱岐浪人 壱岐百姓 壱岐町人 壱岐職人 壱岐商人 壱岐漁師 壱岐猟師 壱岐農業 壱岐牧場 壱岐馬 壱岐牛 壱岐羊 壱岐犬 壱岐猫 壱岐鳥 壱岐魚 壱岐貝 壱岐海老 壱岐蟹 壱岐亀 壱岐蛇 壱岐蛙 壱岐虫 壱岐蝶 壱岐蜂 壱岐蟻 壱岐蜘蛛 壱岐百足 壱岐蚯蚓 壱岐蛭 壱岐蚊 壱岐蚤 壱岐虱 壱岐蠅 壱岐蛍 壱岐蝉 壱岐蜻蛉 壱岐蜻蛉釣 壱岐蜻蛉網 壱岐蜻蛉竿 壱岐蜻蛉糸 壱岐蜻蛉針 壱岐蜻蛉餌 壱岐蜻蛉籠 壱岐蜻蛉箱 壱岐蜻蛉袋 壱岐蜻蛉帯 壱岐蜻蛉笠 壱岐蜻蛉羽織 壱岐蜻蛉袴 壱岐蜻蛉刀 壱岐蜻蛉脇差 壱岐蜻蛉槍 壱岐蜻蛉弓 壱岐蜻蛉矢 壱岐蜻蛉鉄砲 壱岐蜻蛉玉薬 壱岐蜻蛉火薬 壱岐蜻蛉鍛冶 壱岐蜻蛉鍛冶屋敷 壱岐蜻蛉鍛冶職 壱岐蜻蛉鍛冶道具 壱岐蜻蛉鍛冶仕事 壱岐蜻蛉鍛冶弟子 壱岐蜻蛉鍛冶師匠 壱岐蜻蛉鍛冶親方 壱岐蜻蛉鍛冶小僧 壱岐蜻蛉鍛冶小娘 壱岐蜻蛉鍛冶下女 壱岐蜻蛉鍛冶上座 壱岐蜻蛉鍛冶中間 壱岐蜻蛉鍛冶小者 壱岐蜻蛉鍛冶若党 壱岐蜻蛉鍛冶足軽

対馬 上国

上郡二駅 中路

対馬郡 対馬島 対馬国 対馬守 対馬殿 対馬様 対馬家中 対馬侍 対馬武士 対馬浪人 対馬百姓 対馬町人 対馬職人 対馬商人 対馬漁師 対馬猟師 対馬農業 対馬牧場 対馬馬 対馬牛 対馬羊 対馬犬 対馬猫 対馬鳥 対馬魚 対馬貝 対馬海老 対馬蟹 対馬亀 対馬蛇 対馬蛙 対馬虫 対馬蝶 対馬蜂 対馬蟻 対馬蜘蛛 対馬百足 対馬蚯蚓 対馬蛭 対馬蚊 対馬蚤 対馬虱 対馬蠅 対馬蛍 対馬蝉 対馬蜻蛉 対馬蜻蛉釣 対馬蜻蛉網 対馬蜻蛉竿 対馬蜻蛉糸 対馬蜻蛉針 対馬蜻蛉餌 対馬蜻蛉籠 対馬蜻蛉箱 対馬蜻蛉袋 対馬蜻蛉帯 対馬蜻蛉笠 対馬蜻蛉羽織 対馬蜻蛉袴 対馬蜻蛉刀 対馬蜻蛉脇差 対馬蜻蛉槍 対馬蜻蛉弓 対馬蜻蛉矢 対馬蜻蛉鉄砲 対馬蜻蛉玉薬 対馬蜻蛉火薬 対馬蜻蛉鍛冶 対馬蜻蛉鍛冶屋敷 対馬蜻蛉鍛冶職 対馬蜻蛉鍛冶道具 対馬蜻蛉鍛冶仕事 対馬蜻蛉鍛冶弟子 対馬蜻蛉鍛冶師匠 対馬蜻蛉鍛冶親方 対馬蜻蛉鍛冶小僧 対馬蜻蛉鍛冶小娘 対馬蜻蛉鍛冶下女 対馬蜻蛉鍛冶上座 対馬蜻蛉鍛冶中間 対馬蜻蛉鍛冶小者 対馬蜻蛉鍛冶若党 対馬蜻蛉鍛冶足軽

萬國之圖

東

南

西

北

大明

日本

世界之圖

日本之小圖





東

北

西

南

相國寺

二条殿

伏見殿

平安城之圖

北

下臈

長橋局

一對屋

石見部屋

清所

御殿

常

物忌屋

妻戸

内侍所

御格子

杉戸。雪梅竹。

梅竹蘆鶴。

松鳳凰。紫宸殿。

御帳。東

西十一間。南北二間。

之御殿。常御殿。是天

子常居也。東西十三

間半。南北十間半。夜

御殿。書御座。皆在此

殿。御簾子。繪張。

鳳。御上段。竹林七賢。

中段。四老圖。下段。

文臣。東西

六間。南北二間半。

繪源氏。

元祿八乙亥林鍾吉日

大坂尾町

當時禁中圖說

禁中四方公家町也。依内裏近營曲禄之後制儀尤微微也

詳不可得知。今所載當時禁中圖。後光明院御宇圖也。禁裏南北百十一間東西百一間也。紫宸殿板敷北四方板縁也。有壁。壁障子以繪張之。御格杉戸。繪東西十一間南北八間半。此外縁也。南面謂之南殿。元日節會等儀式用此殿。清涼殿。板敷四方縁。御上段。繪帝圖。

南同三之間下段板之間。竹虎金花。

御所

御化粧間

文台

御學問所

申口

御休所

小御所

鳥

日花門

月花門